

- 2面 新学部長からメッセージ／後期授業改善
- 3面 世界4大学と新協定／産学官連携ニュース
- 4面 創立125周年記念寄付者芳名／理窓会だより
- 5面 山口・諏訪東京理科大学ニュース
- 6面 今年度の就職活動状況／本学発祥の地確認
- 7面 図書館利用法ガイド●／長万部サマー教室
- 8面 「理大・人」／学生受賞一覧／公益通報窓口

中越沖地震等被災学生・受験生
経済的な支援をします

今夏七月六日から大雨による熊本県の災害、七月十六日に発生した新潟県中

被災した在学生には、被害の程度により学費等の全額または一部を免除します。その他、奨学金の相談も受け付けています。詳細は各キャンパスの学生課（学務係）にご相談ください。

年々歳々

この夏、流星を見に蔵王の展望台へ出かけた。高校生の時、酸ヶ湯温泉で見た吸い込まれ

本学の取組
文科省
グプログラム
に採択

文部科学省が進める大学教育の国際化推進プログラムの一環として、二〇〇七年度にスタートさせる「先端的国際連携支援プログラム」に、本学の「グローバル時代」に活躍する理工系人材の養成（先進海外大学との学部留学から大学院ダブルディグリー取得まで）が採択された。同プログラムには全国の大学研究機関から五十一件の申請があり、東北大学、東京大学、神戸大学、早稲田大学、東京理科大学、及び広島大学と立命館大学の共同取組の六件が採択された。

取得まで」が採択された。同プログラムには全国の大学・研究機関から五十一件の申請があり、東北大学、東京大学、神戸大学、早稲田大学、東京理科大学、及び広島大学と立命館大学の共同取組の六件が採択された。

'07年度スタート

連携構想は戦略的国際化提案の中でも、教育研究の国際化の大きな柱としてうたわれているものであり、文部科学省に採択されたことは非常に意義がある。

米国の先端研究大学への海外留学を通じて、英語に

本取組は、本学の理学部
第一部、第二部及び理学研
究科が「グローバル時代に
よる専門知識の吸収と国際
コミュニケーション能力を
高めるとともに、異文化体

て評価の高いカリフォルニア大学デビス校、カリフォルニア大学サンタクルー

将来のキャリア選択肢が広がることにより、国際的に活躍できる人材を育成して

進展す

進展する研究交流・留学

本学は、戦略的に先進研究大学との国際連携を推進しており、特にカリフォルニア地域において、青色発光ダイオードの発明者で、本学の顧問でもある中村修二教授が、いるUCサンタバーバラ校との研究交流を実施し、昨年度からはUCサ

五号、及び九月の台風十一号等により被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りします。本学では、右記の災害による災害救助法適用地域に居住されている在学生、受験生及びその家計支持者を対象

①家計支持者が死亡または高度障害を負った場合、または家計支持者の事業に甚大な被害があった場合

②家屋の倒壊・半壊・焼失・床上浸水等の場合

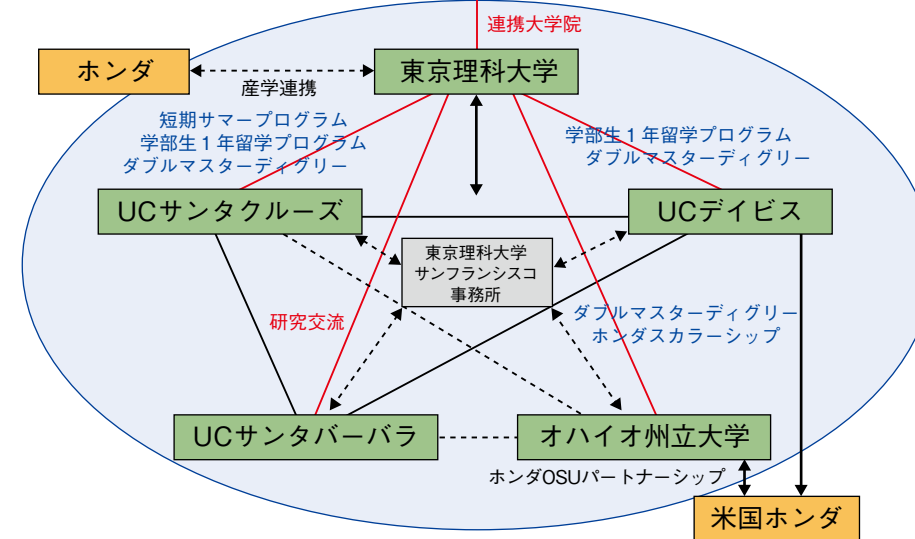
*ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

【在学生に対する支援】

被災した受験生には、入学検定料を免除し、被害の程度により学費等の全額または一部を免除します。詳細は入試センター（電話 03・52228809）にお問い合わせください。 ※支援を受けるには「罹災証明書」等が必要です。

ものの、空一杯に星が輝いていた。何億年前に発せられた光を眺めていると、宇宙の膨大さに気が遠くなる思いがした。▼リサ・ランドール著「ワープする宇宙」では、我々は三次元の膜宇宙に住んでいて、その外側に膜宇宙とならな

協定あり



二十一世紀は、産業経済・科学技術や文化等あらゆる分野の人間活動が、国境を越え瞬時に響き合うグローバルゼーションの時代である。このような時代の大学には、ひとときわ鋭敏な国際性が要求される。本学もこのような激動する社会

強化及び国際的認知度の向上を図るため、海外と大学との交流実績を生かし、海外の複数の大学等と連携し、ダブル・ディグリーなどの複数学位プログラムをはじめとする国際的な共同プログラムを実施するなど、我が国の高等教育を国際的な水準に引き上げる先端的な国際連携を図る取組に対し、文部科学省が採択大学に財政的支援を行うものである。

「先端的国際連携支援プログラム」は、我が国の高等教育の国際的通用性・共通性の向上や国際競争力の



カリフォルニア大一年間留学プログラムでカリフォルニア大サンタクルーズ校に留学した英語クラスの一行



本学のサンフランシスコ事務所見学に訪れたカリフォルニア大学一年間留学プログラム参加者の一行

二教授がいるUCサンタバーバラ校との研究交流を実施し、昨年度からはUCサンタクルーズ校と夏季英語研修プログラムを導入し、毎年二十人程の学生を派遣するなど交流実績を積んできた。更に、今回の先端的国際連携取組の先取りとして、学部におけるカリフォルニア大学一年間留学プログラスを二〇〇七年四月より開始し、現在二期生六人をUCサンタクルーズ校に派遣している。二〇〇八年度にはUCディビス校にも一年間留学生を派遣する予定である。	今後、これらの大学や米国の他の地域における大学との交流が益々盛んになる状況を踏まえ、本学初の海外拠点を日本学術振興会(JSPS)サンフランシスコ研究連絡センター内に開設した。サンフランシス	とが期待されている。 国際教育に関する本学学生の関心は高く、今年度実施した以下の四つの短期海外留学サマープログラムには合計百五十人の学生が参加した。 *オレゴンサマープログラム(米国ポートランド州立大学) *カリフォルニアサマープログラム(米国カリフォルニア大学サンタクルーズ校) *インドIT英語プログラム(インドブネ市・ソフトウェア教育センター) *マンチェスターサマープログラム(英国マンチェスター大学) 二〇〇八年度実施予定のカリフォルニア大学一年間留学プログラムについては、国際交流ホームページ等に近々発表される予定である。	とが期待されている。 国際教育に関する本学学生の関心は高く、今年度実施した以下の四つの短期海外留学サマープログラムには合計百五十人の学生が参加した。 *オレゴンサマープログラム(米国ポートランド州立大学) *カリフォルニアサマープログラム(米国カリフォルニア大学サンタクルーズ校) *インドIT英語プログラム(インドブネ市・ソフトウェア教育センター) *マンチェスターサマープログラム(英国マンチェスター大学) 二〇〇八年度実施予定のカリフォルニア大学一年間留学プログラムについては、国際交流ホームページ等に近々発表される予定である。
--	---	--	--

▼展望台までの高速道路で「熊との衝突注意」の電光掲示板を何度か見かけた。生息地から人里へ出てきて、昨年、全国で約五千頭もの熊が捕獲されたという。熊も環境変化への対応を迫られているとしたら悲しいことだ。▼静かに夜空を眺めていると、星空は地上の様々な出来事とはまるで関係がないように思える。現実世界から見ると宇宙はもちろん、地球さえ普遍的だ。しかし今その恒常性が大きく変化しつつあることを、熊や種々の動植物が我々に教えているような気がする。余剰次元理論により将来、宇宙の秘密が解き明かされるかもしれないが、それまで地球環境は大丈夫なのだろうか。こんな思いとは無関係に、頭上をベルセウス流星が何個も流れていた。

(M・H)

$$\begin{pmatrix} \text{M} \\ \cdot \\ \text{H} \end{pmatrix}$$

教学関係主要役職者(10月1日付)

平成十九年十月一日付で
補職等の異動が発表され、
理学部第二学部長に化学
科の佐藤毅教授、学生部長
に理学部第二学部長の
妻弘教授、野田図書館長に
基礎工学部電子応用工学科
の宮本岩男教授が就任し
た。十月一日現在の主な補
職等は次のとおり。
▽理学部第一学部長 賢朗教授▽基礎工学部部長 田岡書館長▽宮本岩男教
授、久喜図書館長▽井上洋
部長(兼大学院経営学研究
科長)▽原田昇教授▽長方
井茂教授▽総合研究機構長
▽二瓶好正教授▽生命科学
研究科長(兼大学院生命科
学研究科長)▽安部良教授
長▽石田正泰教授▽学生部
長▽新妻弘教授▽神楽坂地
区学生部長▽小向得博教授
長▽山登一郎教授▽学長補
佐▽石井力教授▽植木正彬
教授▽瀬戸裕之教授
新任の佐藤理学部第二
学部長に就任の挨拶をいた
だいた。

新学部長からメッセージ

創立者に思いを馳せて

理学部第二学部長 佐藤 毅

毅

科を受講し易くするために
セメスタ制の導入、また物
理や数学等の基礎学力の整
わなない学生への支援授業な
どの教育環境の整備に努め
ていくところである。



東京理科大学が一八八
年に二十一人の青年理学士
によって創立されたこと
は、本学に関わる者の等し
く知るところである。今に
至り、創立者の志と形態を最
も色濃く継承してきた。
十年程前まで本学部で
は、応募してくる多数の学
生より密度の濃い教育に務
めることが、昨今の社会状況
の発展を志した先学の思

は、現在も決して色褪せ
てはいない。崇高な志を持
つ先達の厳しい教育と、心
から学びたい者との良き出
会いが本学を形づくって来
た。理学部第二部は、その
高貴な志と形態を最も色
濃く継承してきた。
十年程前まで本学部で
は、応募してくる多数の学
生より密度の濃い教育に務
めることが、昨今の社会状況
の発展を志した先学の思

新任教員 5氏



左から 内田さん、石井さん、
田中さん、佐藤さん、安藤さん

十月一日付で新採用の職
員五人は次のとおり。
◆神楽坂校舎◆総務課・佐
藤章子◆経理課・安藤(あ
んどう)課・石井臣・内田久美子

授業改善のためのアンケート

「後期」もご協力ください

すでに前期授業期間中に
一、二回「授業改善のため
のアンケート」を実施しま
した。学生の皆さんから、
今後の授業の改善に役立つ
貴重な意見をいただきました
が、後期授業期間におい
ても、同様のアンケートを
実施します。

後期は、以下のとおりの
スケジュールを予定してい
ますが、学部や学科によっ
て異なりますので、さらに

学科主任・幹事 一覧 (平成19年10月1日付)

※は教職担当

学科	学科主任	教務幹事	就職幹事	FD幹事
理学部第一部	教 養 教 授 丸山 義博	准教授 福崎 裕子	准教授 綿貫 秀一※	准教授 福崎 裕子
数 学	教 授 宮島 静雄	准教授 清水 眞	准教授 加藤 圭一	講 師 横田 智巳
物 理	教 授 本間 芳和	講 師 横田 智巳	准教授 鈴木 克彦	准教授 満田 節生
化 学	教 授 佐藤 洋祐	准教授 二国 徹郎	准教授 田所 誠	准教授 田中 基之
情報	教 授 佐藤 洋祐	准教授 佐藤 元	准教授 瀬尾 隆	准教授 佐藤 元
応 用	教 授 佐藤 洋祐	准教授 齋藤 秀峰	教 授 高柳 英明	准教授 荒木 修
理 工 学 部 第 二 部	教 養 教 授 増田 秀夫	准教授 長谷川 新一	准教授 椎名 勇	准教授 長谷川 新一
数 学	教 授 吉岡 朗	教 授 宮岡 悦良	講 師 齊藤 功	教 授 宮岡 悦良
物 理	教 授 鈴木 彰忠	教 授 趙 新為	講 師 松野 直茂	教 授 趙 新為
化 学	教 授 中田 康洋	教 授 山田 康洋	講 師 三田 茂	教 授 山田 康洋
工 学 部 第 一 部	教 養 教 授 野崎 嘉信	准教授 愼 蒼健	教 授 佐々木 文夫	教 授 立崎 秀和
建 築	教 授 伊藤 裕一	講 師 長井 達夫	准教授 桑野 潤	教 授 宇野 求
電 気	教 授 内田 直之	教 授 加藤 清敬	教 授 村口 正弘	教 授 岩村 恵市
機 械	教 授 八嶋 弘幸	准教授 浜田 知久	准教授 古川 利博	准教授 浜田 知久
工 学 部 第 二 部	教 養 教 授 原 民夫	教 授 金刺 亮介	教 授 陳 玳珩	教 授 金刺 亮介
建 築	教 授 辻本 誠	准教授 山名 善之	教 授 清水 昭之	准教授 山名 善之
電 気	教 授 谷内 利明	教 授 齊藤 茂均	准教授 安藤 静敏	准教授 齊藤 茂均
機 械	教 授 赤倉 貴子	教 授 渡邊 均	准教授 幸雄 均	准教授 渡邊 均
薬 学 部	教 授 田沼 靖一	教 授 岡 淳一郎	教 授 青山 隆夫	教 授 岡 淳一郎
創 業	教 授 増保 安彦	教 授 宮崎 智	准教授 内呂 拓実	教 授 宮崎 智
理 工 学 部	教 養 教 授 小沢 博	准教授 松本 靖彦	教 授 伊藤 稔※	教 授 小林 西子
数 学	教 授 立川 篤	教 授 山崎 多恵子	准教授 細尾 敏男	准教授 田中 真紀子
物 理	教 授 山下 正文	教 授 齋藤 見一郎	教 授 千葉 順成	教 授 浜田 典昭
情 報	教 授 菅原 三男	准教授 国沢 隆	講 師 滝本 宏夫	教 授 宮沢 政清
建 築	教 授 井上 隆雄	講 師 伊藤 香織	教 授 新井 孝夫	教 授 小祝 修
電 気	教 授 越地 耕二	准教授 前田 譲治	教 授 奥田 幸康	准教授 衣笠 秀行
機 械	教 授 森 俊介	講 師 堂脇 清志	教 授 井手 本	教 授 榎田 洋太郎
土 木	教 授 溝口 博	准教授 塚本 良道	教 授 古川 昭雄	教 授 榎田 洋太郎
基 礎 学 部	教 授 藤井 志郎	准教授 本田 宏隆	講 師 篠田 正宏	教 授 大和田 勇人
電 子	教 授 宮本 盛	准教授 藤代 博	准教授 常盤 和靖	教 授 鈴木 康一
材 料	教 授 安盛 敦雄	准教授 菊池 明彦	教 授 石黒 孝	教 授 二瓶 泰雄
生 物	教 授 島田 浩章	教 授 松野 健治	准教授 田村 浩二	教 授 本田 宏隆
経 営	教 授 天島 邦夫	准教授 山下 裕企	教 授 小坂 武	教 授 蟹江 壽

理Iのプログラム採択

本年度文科省プロジェクト

「スーパーサイエンス育成」
本学理学部第一部が実施
する「スーパーサイエンス
イノベーションプロジェクト」
が、文科省の「理数教育
生応援プロジェクト」の委
託事業に採択された。
この「プロジェクト」は、
理数分野に関する優れた
意欲・能力を有する学生
をさらに伸ばすための入試
方法、教育プログラムの開
発・実践や工夫した取組を
行う事業で、国からの委託
により平成十九年度から実
施されるものである。

「がんプロフェッショナル養成プラン」も採択される

このたび、順天堂大学を
申請者とする平成十九年度
の採択が決定した。
【事業目的】「がんプロ
フェッショナル養成プラン」
を目的としている。

第59回理大祭!

◆神楽坂 野田ではサイエンス夢工房実施!

「理数教員養成におけるSTCプログラム開発」シンポジウム

文部科学省より平成十八
年・十九年の二カ年の研究
助成を受けている「理数教
員養成におけるSTCプロ
グラム開発」(教員養成G
P・資質の高い教員養成推
進プログラム)の取組内容
による、教員としての高
度の専門性と実践的指導力
を養成するための研究成果
を報告等をする予定してい
ます。
参加申込方法等の詳細
は、後日、本学HPや掲示
等にてお知らせします。多
数の方のご参加をお待ちし
ています。

悼

橘 孝二教授
(理学部第二学部長) 平
成十九年七月十日逝去され
ました。六十五歳。
高瀬 恒夫図書館事務課
係長
平成十九年九月二十九日逝
去されました。五十六歳。
水池 敦元教授
(工学部第一部) 平成十九
年六月十一日逝去されまし
た。八十一歳。
鈴木 郁男元教授
(工学部第一部) 平成十九
年七月十日逝去されまし
た。八十五歳。
中江 茂元教授
(理学部第一部) 平成十九
年七月十八日逝去されまし
た。七十三歳。
酒巻 淑郎元図書館事務
係長
平成十九年七月二十六日逝
去されました。七十七歳。

推進をめざして講演会開く

本学は、十月一日(月) 学
科准教授・大川和宏「超
ミ・マイナス6%」活動推
進講演会を開催した。本講
演会は、深刻な問題となっ
ている地球温暖化効果ガス
削減に対する理解を
深めると共に、本学
も参加している「チ
ーム・マイナス6%」
活動への意識を高め
ることを目的とした
ものである。今回は
環境に関する研究を
行う四人の本学教員
が講演を行った。
塚本恒世理事長の
開会の挨拶に続き
「チーム・マイナス
6%」活動推進委員
会の中村洋委員長(薬学部
教授)の挨拶の後、各教員
による講演・質疑応答が行
われた。講演内容は以下の
とおり。
*理学部第一部応用物理
終了した。

「がんプロフェッショナル養成プラン」も採択される

このたび、順天堂大学を
申請者とする平成十九年度
の採択が決定した。
【事業目的】「がんプロ
フェッショナル養成プラン」
を目的としている。

◆神楽坂 野田ではサイエンス夢工房実施!

新たに世界4大学と協定

研究者・学生交流など推進

本学は、今春スウェーデンのルンド大学と学術交流協定を締結したのを初め、新たに四国四大学と同協定を結んだ。今後、各大学と教員・研究者・学生との交流、共同研究の計画と実行及び学術情報や文献の交換など、協力関係を活発に推進してゆく。四大学の沿革等は次のとおり。

スウェーデンのルンド大学

本学は、三月十六日に火災安全工学分野におけるルンド大学との学術交流協定を締結した。
一六六六年創立の同大学は、スウェーデンで最大の高等教育機関で、スウェーデン語版
<http://www.lu.se/oj>
University of Lund (英語版)
*ルンド大学 (Lund University) H a (英語版)
*ルンド大学 (Lund University) H a (英語版)
*ルンド大学 (Lund University) H a (英語版)

米国のオハイオ州立大学

本学は、六月二十四日に米オハイオ州立大学と学術交流協定を締結した。
一八七〇年創立の同大学は、十八学部百七十の専攻学科を有す全米最大の総合大学で、学部学生三万八千人、大学院学生二万人。全米最大級の双眼鏡型公立大学として五十七位、工学望遠鏡をアリゾナ大学と共同研究している。
*オハイオ州立大学 (The Ohio State University) H a (英語版)
*オハイオ州立大学 (The Ohio State University) H a (英語版)
*オハイオ州立大学 (The Ohio State University) H a (英語版)

ドイツのイエナ応用科学大学

本学は、六月二十七日にドイツのイエナ応用科学大学と学術交流協定を締結した。
一九九一年創設のイエナ応用科学大学は、Electrical Engineering, Fundamental Sciences, Medical Engineering
<http://www.osuedu/>

カナダのウオータールー大学

本学は、八月十三日にカナダのウオータールー大学と学術交流協定を締結した。
一九五七年創立の同大学は、カナダ・オンタリオ州トロントから西に約百キロメートルの田園地帯に立地し、理工系分野に強く、カナダで最も創造性に富む(University of Applied Sciences Jena) H a (Innovative) 大学として高い評価を受けている。
*ウオータールー大学 (University of Waterloo) H a
<http://www.uwaterloo.ca/>

サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットに本学も加盟

本学は、五月二十一日の拠点を持つ日本の大学間のサンフランシスコ事務所の開設を機にサンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク (UNBA: Japanese University Network in the Bay Area) に加盟した。
UNBAは、米国内に拠点をもち、海外拠点に独自の進めがあるイエナで近年急成長している理工系大学である。科で構成されている。教員数三百二十人、技術者及び管理者数二百五十人、学生数四千九百人。ドイツでは比較的新しい大学であり、光学で有名なCarl Zeiss Jena (University of Applied Sciences Jena) H a (Innovative) 大学として高い評価を受けている。
*ウオータールー大学 (University of Waterloo) H a
<http://www.uwaterloo.ca/>

イノベーションをテーマシンポジウム'07 開催

ー11/13 森戸記念館でー

科学技術交流センターでは「サイエンスが創るイノベーション」をテーマに、東京理科大学の目指す社会貢献、社会連携に関わる研究を本学総合研究機構を中心に紹介する「東京理科大学イノベーションシンポジウム2007」を十一月十三日(火)に森戸記念館にて開催する。



<http://www.tus.ac.jp/>

Innovation Navigator

⑬

イノベーション・ジャパン'07 大学見本市に本学も参加

九月十二日(水)〜十四日(金)に東京国際フォーラムで開催された「イノベーション・ジャパン'07」に本学科学技術交流センターもTELゾーンに参加した。写真。本学は研究成果である「気泡微細化沸騰冷却装置」および文部科学省の「先端研究施設共用イノベーション創出事業(産業戦略利用)」に選定された総合研究機構の「赤外線自由電子レーザー」について紹介した。

産業界での活用に向けて大々的にPRを行ったこともあり、ブースに立ち寄った企業関係者から専門的な高度な内容の質問が寄せられ、本学の研究シーズに対する注目度の高さを実感させた。



体験型イベントで新たな発見ーポリマー体験実験ー

オープンキャンパスに1万人

過去最高の来場者で賑わう

神楽坂・野田

この夏、神楽坂キャンパスと野田キャンパスで「オープンキャンパス2007」が実施された。今年はいくつかの研究室が参加し、盛り上げてくれたことにより、連日の猛暑にも拘わらず、八月十日(金)、十一日(土)に開催された神楽坂キャンパス(神楽坂5号館でも化学系学科を校舎・九段校舎)は計約六千五百人、また八月九日(木)、十日(金)に開催された野田キャンパスは計約三千三百人、両キャンパス合わせて延べ一万人近い方が来場し、予想を遙かに上回る過去最高の来場者で賑わった。なお、久喜キャンパス(経営学部)でのオープンキャンパスは、十一月十日(土)〜十一日(日)に行われる学園祭との同時開催を予定しており、様々なイベントが企画されている。



研究見学、模擬実験で賑わう5号館(化学系研究棟)

東京理科大学

総合研究機構フォーラム

人の生活を支える 歯の再生医療と 人間動作のエンハンスメント ー身近に迫る実用化の時代ー

- ◆日程: 平成19年11月12日(月)
- ◆会場: 秋葉原コンベンションホール 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2階
- ◆主催: 東京理科大学
- ◆対象: 大学、研究機関、企業、学内関係者、招待者、申し込み者
- ◆定員: 100~150人
- ◆参加費: 講演会無料/交流会無料
- ◆プログラム(講演会11:00~17:00)
 - ・特別講演「ヒトES細胞株の樹立と医学および創薬への応用」 中辻憲夫・京都大学再生医科学研究所長
 - ・講演「人間を支えるロボット技術」 小林宏・東京理科大学人間支援工学研究センター長
 - 〔講演者〕 齋藤正寛(大阪大)、春日井昇平(東京医科歯科大)、辻孝(東理大)、友岡康弘(東理大)、平松万明(日立メディコ)、入江和隆(ハートウォーカー・ジャパン)、隅内幸雄(JFEメカニカル)、和田雄志(未来工学研究所)、吉本成香(東理大)、中西美和(東理大)、他センター大学院生
- ◆併催: 総合研究機構研究センター・研究部門活動紹介展示
- ◆交流会(17:15~18:45)
- ◆申し込み・問い合わせ: フォーラム事務局 東京理科大学研究事務課 kj_forum@admin.tus.ac.jp *詳細は <http://www.tus.ac.jp/kjf/>

サンフランシスコ事務所 移転

十月一日からサンフランシスコ事務所が移転したのをご案内いたします。十月一日以降の連絡先は次のとおりとなっております。電話・ファックス・メールアドレスは変更ありません。お知り合わせをお願いします。十月一日以降の連絡先は次のとおりとなっております。電話・ファックス・メールアドレスは変更ありません。お知り合わせをお願いします。

◆新住所: at JSPS San Francisco Office 2001 Addison Street, Suite 260 Berkeley, CA 94704 USA	◆FAX: +1-510-663-1891 (JSPSの共用FAX)
◆電話: +1-415-468-5000 (携帯)	◆E-mail: usa-sf@admin.tus.ac.jp 同事務所および国際交流課へメールが届きます。

「創立百二十五周年記念事業募金」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。今回は、二〇〇七年五月一日〜七月三十一日までにお振込みいただいた分です。

ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。

[illegible]

山口県山陽小野田市大学通一―一
☎0836・888・3500(代表)
<http://www.yama.tus.ac.jp/>

長野県茅野市豊平五〇〇〇一
0266・73・1201(代表)
<http://www.suwa.tus.ac.jp/>

辞任劇について、
 中・四国・九州地区の大学
 が減少する中、本学では増
 加傾向にある。参加者の評
 判も上々で、本学に対する
 認知度も次第に広がりを見
 せている。

七日から二日間の日程で、
諏訪東京理科大学は十月
父母懇談会を開催した。懇
談会には両日併せて約
四百二十人の父母等が参
加。学部別懇談会や個別懇
談会では、父母等の大学
への一層の理解と、本学
の特色ある教育の一環を
紹介する目的で「総合演
習」のプレゼンテーション
も行われた。

好条件下、求人増勢

就職活動 売り手市場の趣き

景気は、米国景気の減速、原油価格の高騰等の不安定要因をかかえながらも「いざなぎ景気」を超える戦後最長の拡大基調がつづいている。雇用環境は団塊世代の大量退職に伴い、企業が技術伝承をする人材や将来を見据えたコア人材の確保を背景に採用拡大が鮮明になっており、バブル期の「売り手市場」を彷彿とさせるものがある。就職氷河期からつづいている「質」重視の厳選採用は「量」の確保対策にも対応をせまら

平成19年度 求人件数		(9月20日現在)	
● 産業分類別		● 都道府県別	
農 林・水 産 業	3	北海道	45
鉱 業	3	青森県	17
建 設	238	岩手県	11
設 備 工 事	141	宮城県	28
建 築 (土 木) 設 計	97	秋田県	13
食 料 品	70	山形県	13
纖 維 ・ 衣 料	25	福島県	28
木 材 ・ 木 製 品 ・ 家 具	23	茨城県	75
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工	25	栃木県	49
新 聞 ・ 出 版	32	群馬県	47
印 刷 ・ 同 関 連 産 業	31	埼玉県	157
化 学 工 業	123	千葉県	94
医 薬 ・ 化 粧 品	69	東京都	2,447
石 油 ・ 石 炭 製 品	31	神奈川県	386
ゴ ム ・ 皮 革 製 品	23	新潟県	108
窯 業 ・ 土 石 製 品	39	富山県	52
鉄 鋼	27	石川県	50
金 属 製 品	88	福井県	30
非 鉄 金 属 製 品	28	山梨県	31
一 般 機 械 器 具	252	長野県	101
精 密 機 械 器 具	121	岐阜県	34
電 気 機 械 器 具	383	静岡県	114
輸 送 用 機 械 器 具	138	愛知県	233
そ の 他 の 製 造 業	56	三重県	26
商 社	36	滋賀県	13
卸 ・ 小 売	432	京都府	60
百 貨 店 ・ ス ー パ ー	60	大阪府	295
自 動 車 販 売	32	兵庫県	69
外 食 産 業	42	奈良県	7
銀 行 ・ 信 託	29	和歌山県	7
金 庫 ・ 信 用 組 合	35	鳥取県	5
証 券 ・ 商 品 取 引	28	島根県	11
保 險	24	岡山県	62
不 動 産 業	79	広島県	74
運 輸 ・ 通 信 業	95	山口県	9
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	18	徳島県	7
※1 教 育 : 大 学	20	香川県	25
教 育 : 専 任 教 諭	150	愛媛県	21
※2 そ の 他 の 教 育	39	高知県	16
情 報 産 業	1,154	福岡県	42
放 送 ・ 広 告	70	佐賀県	5
医 療 ・ 保 健 業	182	長崎県	3
学 術 研 究 機 関	5	熊本県	8
非 営 利 団 体	43	大分県	7
そ の 他 の サ ー ビ ス	318	宮崎県	7
そ の 他	11	鹿児島県	13
合 計	4,968	沖 縄 県	13
※1.事務職員 ※2.塾・予備校等教育産業		合 計	4,968
●求人件数に追加・再募集及び公務員は含まない			

※1.事務職員 ※2.塾・予備校等教育産業
●求人件数に追加・再募集及び公務員は含まない

本学発祥の地がわかった！

千代田区九段のこの辺り



地については、稚松学校の記録により麹町区飯田町四丁目一番地と判明したものの、一番地のどこに稚松学校があったのかまでは資料が無く、場所を確定するには至らなかった。

平成十八年四月に東京理科大学神楽坂キャンパスの九段校舎が開設されるにあたり、本学同窓生が中心となり、本学物理学講習所を始め、この地は明治十四年付郵便の地（私立稚松学校の所在地）を探してきたが、この地は「東京理科大学発祥の地」としての記憶をたどる。本学は百二十六年前に稚松学校の一角を借りて、東京物理学講習所を始めて、二十八年製作の地図が発見されたことや、その他資料を検討した結果、発祥の地を推定するに至った。本学では今後、千代田区と協議し、この地に本学発祥の地としての記念碑を建立する。また、番地を計画している。

理工・電気電子情報工学コース

JABEEE 技術者教育認定プログラム

理工学部電気電子情報工学コースの「電気電子情報工学」は、五月十四日付で、日本技術者教育認定機構（JABEE）のJABEEE技術者教育プログラムとして、次のとおり正式認定された。

▼認定プログラム名：電気電子情報工学コース

▼認定分野：電気・電子・情報通信及びその関連分野

▼認定期間：二〇〇六年四月一日から二〇一一年三月三十一日までの五年間

このコース修了生は、技術者として必要な教育を修了したことが国際的に認められ（Washington Accord）、修習技術者の資格が与えられる。また、技術士第一次試験が免除され、登録することによって技術士補の資格が与えられる。修習技術者または技術士補は必要な経験を積んだ後に、技術士第二次試験に合格し登録することによって、技術士の資格を取得することができる。

＊JABEEEのHP <http://www.jabee.org/>

＊日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）は、技術系学協会と密接に連携し、技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体。

過去5年間の「学報」がHPで見られます

東京理科大学報（学報）も閲覧できます。過去五年間に発行された学報の閲覧は各キャンパス等で配布しているほか、本学HPから

ナノスケール量子輸送テーマにFCSNT'07国際シンポジウム

ー最新成果について活発論議ー



ナノスケール量子輸送シンポジウムの参加者たち＝毘沙門天善國寺にて



挨拶する渡辺教授

挨拶する竹内学長

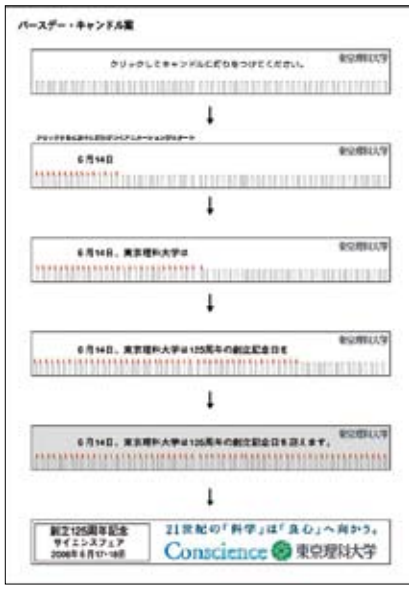
ational Science of Nanoscale Transport (FCSNT) in conjunction with the Atomistic Workshop 2007」を、神楽坂キャンパス森戸記念館で開催した。本シンポジウムFCSNTの参加者を迎え、招待講演は国内外、国内から各界を探索し、現象の理解に一つ近づけることができたことは大きな収穫であった。本シンポジウムによって、電子・フォノン・スピンの相互作用のナノスケールの世界を探索し、現象の理解に一つ近づけることができたことは大きな収穫であった。

はこの時期を逃さず本学の伝統である教育界に多数進んでほしい。

次年度、新たに就職活動を迎える学生諸君に対して六月下旬の「第一回進路ガイダンス」に続いて、十月から「第二回進路ガイダンス」を実施する。また「業界・企業研究セミナー」や「理系企業人会による会社説明会（本学卒業生が社長・役員をしている企業を招聘して行う）や「就職マナー講習会」「就職面接講習会」「SPI検査」「エントリーシート対策講座」等の実施を予定している。これらの行事に積極的に参加し、就職活動への意識を高めます。

創立記念日のバナー広告がインターネット広告賞受賞

ー第23回読売広告大賞ー



本学では昨年度、創立百二十五周年を記念して新読売広告大賞「読者選」の部において「インターネット広告賞」に選出された。その一環として制作されたバナー広告

考委員が優秀と認めた作品に贈られるもので、本年度新設され、本学の広告が第一回の受賞作品となった。本学が掲載したバナー広告は、バナー広告をクリックする際、マウスポインタがマッチ棒に変形し、ロウソクに火をつけるように見える工夫がなされ、その後、創立記念日をバースデーになぞらえ、ロウソクの火が増え、いくつにもなる。六月十四日、東京理科大学は百二十五周年を迎えます」とのメッセージを表示し、写真も掲載された。デザインが高く評価された。

電子図書館時代に向けて

特集 ① 大学図書館長 河村 洋 (理工学部機械工学科 教授)

学外からもアクセスできます

今回の学報七月号では電子図書館の窓口である電子ジャーナル等の電子図書館サービスを紹介する電子ジャーナル特集です。設定を希望する場合は図書館に相談ください。

電子図書館化の主たる目的は利用者の利便性を高めることにあります。本学図書館はこの目的に沿い、今は、学術雑誌や学術図書のオンライン版である「電子ジャーナル」と「電子ブック」、また、他図書館からの希望する資料の取り寄せを依頼するオンライン申請についてご紹介いたします。



創立100周年記念に建設された野田図書館



ダ・ヴィンチ素描展示コーナー＝野田図書館

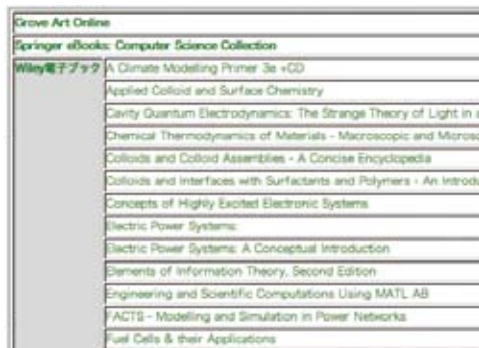
電子ジャーナルと電子ブック

本学図書館の「電子ジャーナル」と「電子ブック」は、図書館ホームページの「電子資源」から「電子資料」を選択すると、希望する雑誌名や図

書名をクリックすると、フルテキストで閲覧できます。また、必要ならばダウンロード、あるいはプリントアウトすることも可能です。現在、本学図書館が導入



電子ジャーナル・リストの画面(部分)

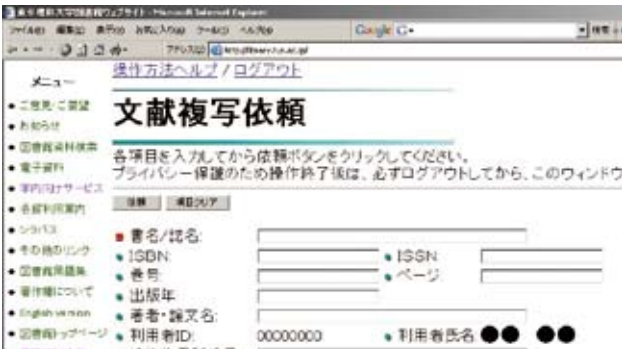


電子ブックリストの画面(部分)

また「電子ブック」は、化学資料館(日本化学会が編集する図書、理科学年表プレミアム(大正十四年刊から最新年度版)、Wiley電子ブック(Wiley社が発行する五十三タイトルの図書)、Springer eBooks(Lecture notes in computer scienceの全シリーズ)、Kenkyusha Online Dictionary(研究社のオンライン辞書)の五種類です。

項目	案内
文献複写依頼	左記の項目は「ユーザID・パスワード」により各データを入力されている方は左の「項目」をご覧ください。
図書貸借依頼	図書貸借依頼において、学内の各図書館から「モジュール」の図書館にある図書が館名を明記し、ユーザIDとパスワードの入手方法および身分証明書あるいは学生証を持参の上、各お貸しください。新しいパスワードをお教えし翌日から使用できます。
パスワード変更	パスワードは左記のパスワード変更画面から最寄の図書館カウンターまでお貸しください。紹介先図書館への確認が必要なため、訪問日は。
紹介状作成依頼	

オンライン文献複写依頼の画面(部分)



文献複写依頼・書誌事項入力画面(部分)

文献複写依頼と図書貸借依頼

本学図書館では、所属の図書館で所蔵していない資料を、他キャンパス図書館や他大学図書館から取り寄せて、利用者に提供する図書貸借サービスを行っています。図書貸借サービスは「学内向けサービス」と「学外向けサービス」を選択し、左図上段画面からご利用ください。利用する場合は図書館でIDとパスワードを取得してください。

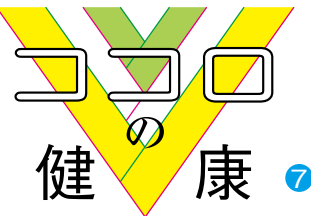
必要とする資料が、所属する図書館に所蔵していない場合は文献複写依頼を承ります。複写料金と送料の実費がかかります。左図下段



久喜図書館の雑誌閲覧コーナー



諏訪東京理科大学の図書館



不安? 早目に相談しよう

でも広い意味で使われている。自分の状態に「あれっ?」と思うと、理科大学「気分が沈む、悲観してはまず自分で調べます。メンタルヘルスの解説書を読んでいる、絶望している、苦しい、不安だ、じつとしておみ、インターネットで情報がない、何をやるのも億を調べ「この説明とぴったりの楽しめない、頭が回らり合うんです」と診断結果

自分の状態に「あれっ?」と思うと、理科大学「気分が沈む、悲観してはまず自分で調べます。メンタルヘルスの解説書を読んでいる、絶望している、苦しい、不安だ、じつとしておみ、インターネットで情報がない、何をやるのも億を調べ「この説明とぴったりの楽しめない、頭が回らり合うんです」と診断結果

多彩な企画で科学を満喫

長万部サイエンスサマースクール

本学では、全国の高校生を対象に「身近なものにサイエンスの楽しさを発見する」をテーマに、八月八日の主要な海産物であるホタテを題材に、生物の神秘に迫った。フィールドワーク「空と大地」では、有珠山、洞爺湖、昭和新山を巡り、火山による地形形成の様子や、空の科学的な楽しみ方を体験。フィールドワーク「長万部とホタテと大地」、木幡正志氏(長



ホタテで生命の神秘に迫る実験



祭りに参加 神輿もかついだ!

「他の地域の高校生や大学生・大学院生との交流がとて新鮮で、いい経験になった」 「普段はなかなか体験できない地域との交流ができたことが嬉しかった」などのコメントが寄せられた。



★略歴(もりした・あいこ) 1981年3月、富山県黒部市生まれ、高校まで地元で。2003年理工学部応用生物科学科卒、05年理工学研究科応用生物科学専攻修士課程修了、キリンビール(株)入社。現在、茨城県取手工場品質保証担当。

長い髪を後ろで束ねて、きりつとした風貌の森下さん。左胸に赤く「キリン」と染め抜いた、ベージュの上下セパレートの作業服がよく似合う。

入社してまだ二年半、若さにはじける。大学生活では四年間、水泳部にいて東日本の理系大学の大会等で、百メートル平泳ぎや、自由形、個人メドレーに出場し、たびたび入賞した。そのフアイトが社会人になっても消えていない。

「部活のメンバーとの交流が何よりの宝です」と語る森下さんにとって、他大学との学年・年齢を超えた付き合いが、社会人になっても大いに役立ち、会社でも先輩たちの間にすっと溶け込めた。

仕事は工場でのビール、発泡酒、その他の醸造酒の品質保証担当で、製品の化学分析と微生物分析にあたる。その分析値だけでなく、ここでは官能検査も重要で、自分の口、鼻、目といった五感を通して、色を見、香りを嗅いで、おいしい製品の維持につとめている。ビールが生まれてから送り出すまでのいわば目付け役である。

だが、研ぎ澄まされた五感を保つのは簡単ではない。入社時からおいに嗅ぎ分ける訓練を続けた。職場では常時、新人・先輩に



キリンビールで目付け役
夢はカクテル新製品開発

森下 あい子さん

かわらずデイスカッションし、その感性を向上させる努力を重ねる。さらに本を読むなど勉強し、五感で得た感覚を、適格に表現し、わかりやすく相手に伝える作業が重要なのだ。

大学院ではイネの研究をしていた。最初は研究職の道に進もうとした。だが途中で、商品に近いところで、消費者に届けることに興味をわいた。商品の安全・安心を守る仕事にしたい。部活での仲間とよく酒を飲んだ。酒は沢山の思い出を紡ぎ出してくれた。アルコール関係の企業がいいかなと漠然と思った時、大学のガイダンスで、キリンの人事担当者が「私にはマイクはいりません」といって説明をはじめた。その元気に「堅くて古い会社」と思っていたキリンのイメージが壊れて、好感がもてた。かくて森下さんはキリンの人となった。

森下さんの夢は、入社時今も変わらない。入社十年で新商品の開発に携わりたい。カクテルが大好きである。ホテルで出される同じおいしい味のカクテルを、家で飲めるようにしたい。その夢を語る笑顔がさわやかな、森下さんのカクテルが待ちどおしい。

学校法人東京理科大学は、公益通報者保護法、本法人における公益通報に関する規程等にもとづき、公益通報および相談(以下「公益通報等」)に関する窓口として、監査室内に「公益通報・相談窓口」を設置し、公益通報等の適正な取り扱いに努めます。

①面談による場合 Ⅱ学校

学校法人東京理科大学は、公益通報者保護法、本法人における公益通報に関する規程等にもとづき、公益通報および相談(以下「公益通報等」)に関する窓口として、監査室内に「公益通報・相談窓口」を設置し、公益通報等の適正な取り扱いに努めます。

①面談による場合 Ⅱ学校

面談・文書などで受け付けます

「公益通報・相談窓口」設置



紙コップで作った万華鏡を楽しんだ



心臓の神秘的動きを体感

「支援フォーラム」に本学も参加

八月十八日(土)、十九日(日)に東京国際フォーラム(主催・日(日)に東京国際フォーラム)に本学も参加した。このフォーラムは、小中学生に最先端の学びの楽しさを体験してもらうイベントで、様々な大学が国の未来を担い、知のグローバル時代に生きる子どもたちのために「楽しい学び」を提供するものである。本学からは理工学部・越

地研究室、理学部第二部・佐々木研究室の二研究室が次の企画で参加し、分りやすい科学実験等により、学びの楽しさを小中学生に体験してもらった。

▽理工学部・越地研究室「心臓は働き者。ポンプを使って心臓の動きを体感しよう」

▽理学部第二部・佐々木研究室「紙コップで万華鏡を作ってみよう」液晶の仕組みも紹介。

子どもと共に「楽しい学び」

川村康又准教授が編集に協力した『子ども科学技術白書』出版される

理学部第一部物理学科の川村康又准教授が編集に協力した『子ども科学技術白書』が、文部科学省の監修によりこのほど出版された。今回、川村准教授が編集協力したのは「子ども科学技術白書Ⅷ」で、時空船フォトン号の冒険、量子ビームの世界。放射光や中性子ビームといった「量子ビーム」は、生命科学や物質科学などで広く私たちの生活を支えている技術であるとともに、ニュートリノ天文学など最先端の科学でも活用されている。白書では、この「量子ビーム」がどのように私たちの生活に役立つのか、マンガでわかりやすく紹介している。

東京理科大学学生の各種論文・研究発表等の受賞 一覧

(平19・5月～9月)

受賞者(所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名等	受賞テーマ等	受賞日
池上 弘晃	理工研・機械・修2	ベストプレゼンテーション賞	リニアガイドの玉戻り経路の最適化に関する研究	5月10日
塚原 隆裕	理工研・機械・博3	奨励賞	(社)日本伝熱学会が優秀な若手研究者に贈賞するもので「大規模直接数値シミュレーションによる平面クエット流の乱流熱伝達に関する研究」を通じて、伝熱研究の進展に貢献し、その功績が認められた	5月24日
西脇 芳典	理工研・化学・博1	科学警察研究の部最優秀賞	高エネルギーシンクロトロン放射光X線分析を用いた法科学鑑定のための微細ガラス片の非破壊異同識別	5月25日
赤松 洋孝	理工研・機械・修2	学生優秀発表賞	直流電流下における極小玉軸受の電流限界密度に関する研究	5月26日
関 浩康	理工研・工化・修2	講演奨励賞	ラダーオリゴおよびポリフェニルシルセスキオキサンの合成	5月29日
島津 昭仁	理工研・工化・修2	ポスター賞	Determination of DNA Binding Modes of Ellipticine Analogs with Orientation of Dye Molecules in DNA Based Films with Chain Alignment and Determination of Binding Constants Kass with QCM	6月16日
新蔵 俊徳	薬研・薬学・修2	ナイスポスター賞	モデル焼却炉におけるフェノール類からのダイオキシン類生成に及ぼす共存有機物の影響	6月22日
宇都宮将道	理工研・工化・修2	ポスター賞	Development of Novel Fluorous Polymers and their Application to the Solid-Phase Reactions in the Presence of the Fluorous Catalysts	7月31日
杉山 朋正	理工研・工化・修1	ポスター賞	SOFC用固体電解質La0.8Sr0.2Ga0.8Mg0.2-xCoxOy (x=0.0,0.085)の酸素ノンストイキオメトリー、結晶構造と導電率の関係	8月3日
濱本 理紗	工研・建築・修1	第3等賞	韓国釜山市の主催による、国際ワークショップであり、釜山の光復洞の実際の敷地を対象に、国籍を超えて韓国、中国、日本の建築を学ぶ学生114名が集い、設計で競い合い、受賞した	8月26日
黒田 桃	工1・建築・4年	第2等賞	韓国釜山市の主催による、国際ワークショップであり、釜山の光復洞の実際の敷地を対象に、国籍を超えて韓国、中国、日本の建築を学ぶ学生114名が集い、設計で競い合い、受賞した	8月26日
原田 智宏	基工研・材料・修1	優秀賞	第23回日本セラミックス協会関東支部研究発表会	8月31日
仲田 有佳	基工研・材料・修1	奨励賞	Ceドープケイ酸塩系ガラスの発光に及ぼす紫外光照射の影響	8月31日
中村 大毅	基工研・材料・修1	奨励賞	第23回日本セラミックス協会関東支部研究発表会	8月31日
小泉 和之	理工研・数学・博2	優秀報告賞	Co3O4-TiO2-SiO2系分相・結晶化ガラスの磁気特性	8月31日
吉羽 秀彰	理工研・機械・修1	優秀賞	2007年度統計関連学会連合大会(応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会)	9月9日
野澤 諒子	理工研・機械・修1	優秀賞	欠測データを含む一樣構造モデルのもとでの2つの平均ベクトルに対する同等性検定について	9月9日
鷲見 若菜	理工研・機械・修1	優秀賞	チェーン要素を用いた摩耗試験機の開発	9月10日
広末 忠之	理工研・電気・修2	セッション・シンポジウムポスター優秀賞	ミニチュア玉軸受の保持器挙動観察	9月10日
眞下 泰明	理工研・工化・修2	優秀発表賞	リニアガイドの騒音・振動に及ぼすエンドキャップ管路の影響	9月10日
			高密度KNbO3セラミックスの作製プロセス	9月12日
			水/超臨界二酸化炭素マイクロエマルション内水相のFT-IRによる観察	9月15日

『白書』は、全国の各小学校、公立図書館、科学館等に配付しているほか、政府刊行物サービスセンターなどでも販売している。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kaga/ku/kodomo/index.htm

意見・感想をお待ちしています!

【宛先】〒102-8501 新宿区神楽坂3-3 東京理科大学広報課
【FAX】03-3260-5823 【E-mail】koho@admin.tus.ac.jp